



た・か・せ

— たくましい子 かしこい子 せいっぱいがんばる子 —

高瀬小 学校だより

No. 21
R7. 2. 12

発行責任者 校長 橋本一弥



がんばった「なわとび記録会」

2月4日～2月6日



今年度の「なわとび記録会」を2月4日から3日間に学年ごとに実施しました。児童は、体育の授業や休み時間、そして、家庭で練習した成果を発揮しようと臨んでいました。どの学年でも、持久跳び、必須種目、選択種目のそれぞれでベストを出そうとする真剣な表情が見られました。記録更新ができた児童も多く、実り多い記録会となりました。

保護者の皆様には、天候が悪い中にもかかわらずご来校いただき、応援や種目のお手伝いをいただきました。応援で力を発揮できた児童も多かったようです。改めて感謝申し上げます。

入賞おめでとう！

第69回福島県書き初め展

硬筆の部 書きぞめ奨励賞 1年

第58回ぼくのひろば

入選 1年

佳作 5年

令和6年度郡山市教育委員会優秀選手表彰

卓球 4年

読書委員会「お楽しみ会」 2月10日

委員会活動のまとめとして、読書委員会が「お楽しみ会」を開きました。二度の休み時間に児童が会場の教室にかけつけて、読み聞かせやクイズで楽しむと共に、プレゼントをいただくなどして、大満足でした。会を運営した委員も今年のまとめにふさわしいチームワークで会を進めていました。

委員会活動は児童の自主的な活動で、持っているアイデアなどを生かせる場でもあります。読書委員会では学校司書もこの活動を支えました。この一年間、多くの児童が図書に親しむ事ができたのもこのような工夫や支援のお陰ですね。



中学校体験入学 1月31日

中学校保護者説明会に合わせて実施されました。緊張しながら中学校の授業の実際を体験してきたようです。新しい生活の夢や見通しを持ちながら、小学校のまとめをしてほしいと思います。



学力向上研修会 1月31日

本校の学力の実態をもとに、特に、算数について職員の研修会を開きました。今年度の全国学力・学習状況調査等の結果や問題をもとに授業改善について市教育委員会担当指導主事から講話をお聞きしました。



子どもをたくましく育てるために

その11 家庭でも「心の教育」を積極的に

11月の第16号でお知らせした学校の道徳の授業は、各ご家庭で協力をいただくと一層効果が高まります。ご家庭に協力をお願いしたいことを同じくQ&A形式で書いてみます。

Q 学校の道徳教育との連携を図るために、家庭で取り組めることはなに？

A 子どもの心の成長に寄り添うためには、常日頃からお子さんとのコミュニケーションを大切にしていけることが大切です。学校であったことなどどんなことでも話せるような雰囲気づくりが最も大切だと思います。

そして、温かい愛情で包みながら、発達段階に応じた「しつけ」を進めることが大切です。特に、良い・悪いの区別、我慢する心、他の人の気持ちを考える大切さなどを、折にふれて話したり教えたりしながら育んでいきたいものです。

また、「今日の道徳の授業でどんなことを話し合ったの？」などと聞いてみて、学校で学んだことを家庭でも広めたり深めたりしていただければより学習の効果が高まります。

・このことについてどう考えたの？ ・学級の他の人からはどんな考えが出たの？

道徳の教科書には、大人も考えさせられるようなよい資料がたくさんあります。ぜひご家庭でも、教科書に目を通していただければと思います。見えにくい「心」を学ぶ教材がどんなものであるか、ぜひとも関心を持っていただければと思います。

Q 子どもの体験を重視するために、家庭で取り組めることはなに？

A 体験活動が子どもの成長に及ぼす効果は計り知れず、子どもの心の発達と強い関係があります。学校では教育活動全体で様々な体験を取り入れて道徳教育との関連を図っていますが、ご家庭でもこの重要性をより認識し、体験の機会を増やしたり、体験の幅を広げたりすることに努めていただければと思います。

家庭では、学校ではできない様々な体験が可能です。お手伝いをさせる、祖父母とのふれあいの時間を持つといったことは素晴らしい体験です。その中で大切にしたいのが「失敗」の体験です。友だちとけんかをしてしまった、他の人に迷惑をかけてしまった、大会で目標に届かなかった・・・といった失敗や挫折の経験は、叱ったりそのままにしたりせず、受け止めて次に生かすようにしたいものです。

子どもは「失敗をしながら成長していく存在」です。その時どんな気持ちだったか、もっとよい対応はなかったか、何が足りなかったか、などを共に考えることで前向きな気持ちを持つことができるようになります。失敗こそ子どもが成長するまたとないチャンスととらえたいものです。保護者の方々が経験なさった失敗談などは、子どもにとってこの上ない貴重なものです。同じ人間として、共に成長していく存在として、語り合えたら素晴らしいです。

